

【A芸レッスンは用台本】

脚本…八重樫風雅

『佐藤と佐藤』 第一話

○プロローグ

ある日、自分のスマートフォンに知らないアドレスから1件のメールが届いた。

「佐藤さんへ

初めまして、○○です。

突然ですが、伝えたい事があります。

怪しいと思うかもしれませんが、怪しくありません。

このURLにアクセスしてください。

【URLアドレス】

佐藤さんが来てくれるまで、ずっと、ずっと待っています」

文面にもある通り、なんだか怪しいし、ちょっと怖かったのだが、感じたことのない興味心が湧き、アドレスを押してしまった…。

○パソコン画面

ズームのビデオ通話が始まる。

優「……」

みづき「……ほんとに来てくれた!!」

優「……え(…誰?)」

みづき「待ってた!」

優「待ってたって…僕(私)を?…間違えてない?」

みづき「間違えてないよ! 君を待ってたんだよ!」

(自分と同じくらいの子供が映ったので、思わず拍子抜けしたが、と同時に、疑心が少し解消された気もする)

優「……あの…誰ですか」



オンライン・アクターズ・スクール

ACT 芸能進学校

みづき「佐藤！」

優「え？」

みづき「僕も（私も）佐藤って言うんだ！ 佐藤みづき！」

優「みづき……」

みづき「（いたずらに）君は？」

優「？ 佐藤……優」

みづき「うん、知ってる」

優「え？」

みづき「知ってるよ、名前くらい。それにね、君の誕生日も知ってるし、血液型

もO型でしょ？…あ、猫アレルギーだって事も知ってるよ！（と笑う）」

優「え?!?!」

みづき「（得意げに）エスパ！」

優「ねえ！ 誰?!」

みづき「え？ だから佐藤……」

優「（遮り）じゃなくて！ 何者なの！」

みづき「何者って……んん、説明が難しいんだよなー」

優「いきなりメール来るし、僕（私）の事いろいろ知ってるし……気持ち悪い

よ」

みづき「ひっどーい！」

優「そんな事ないよ！ 逆の立場になって考えてごらんよ！」

みづき「（考えて）……きもちわるーい!!」

優「ほら!!」

みづき「（笑って）」

優「……メール」

みづき「ん？」

優「伝えたい事って書いてあったけど……何ですか？」

みづき「あー！ そうじゃん！ 忘れてたよ」（笑って）」

優「君さ……人見知りしないタイプでしょ」

みづき「え、するよ？」

優「嘘」

みづき「するする！」

優「全然そんな感じしないけど」



オンライン・アクターズ・スクール

ACT 芸能進学校

みづき「だって初めましてじゃないし」

優「いや、初めましてだよ」

みづき「違うよ?」

優「・・・はい?」

みづき「初めましてじゃないよ、(僕)私たち」

優「・・・どうゆうこと?」

つづく



オンライン・アクターズ・スクール

ACT 芸能進学校